

2021 年度実施概要

学校名

松本市立安曇小学校

採択活動名

上高地・梓川から自然・環境・歴史・観光・人々の営みについて考え行動しよう
 ～身近な地域から、川を通し、海へと視野を広げ考えを深める～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|-----------------------------------|--------|-----|
| 1. 上高地の生き物や植物とふれ合おう | 1, 2年生 | 生活科 |
| 2. 上高地で環境に関わる仕事をする人から学び、水について調べよう | 3, 4年生 | 総合 |
| 3. 農家の高齢化を解消する一発肥料は本当に海に流れ込んでいるのか | 5年生 | 総合 |
| 4. 小水力発電をすることで環境を守ることはできないのか | 6年生 | 総合 |

取り組みの概要

学区にある上高地は世界的な景勝地として豊かな自然があり、多くの観光客を魅了している。本校は「上高地学習」として全学年が学年の発達段階に応じて「上高地」に触れ、学び、そして海へのつながりを考える学習を継続している。

【学習内容】**1 上高地の生き物や自然とふれ合おう（1, 2年生）**

「川の自然と文化研究所」の方をお招きして「上高地で見つけたすてきなもの」と題し、「陸探検」と「川探検」を行い、そこにいる動植物や川原の石を実際に眺めたり、触ったりしながら自然を体感していった子ども達。自然とふれ合いながら、それを守る上高地のルールを学び、そこが人々を魅了する理由を考え始めた。

2 上高地で環境に関わる仕事をする人から学び、水について調べよう（3, 4年）

環境省自然保護官の方の案内で、上高地の外来植物を駆除する体験をした子ども達は、自然を守るために様々な方が努力を続けていることを知った。また、梓川の支流である黒川や島々谷川に入るリバーアドベンチャーをしたり、上高地の「きき水体験」をしたりすることを通して、水質は地形や地質に関係していることに気づいていった。多くの観光客を引きつける上高地の魅力の中に「水」が大きく関わっていることを理解していった。

3 農家の高齢化を解消する一発肥料は本当に海に流れ込んでいるのか（5年）

上高地の地質や歴史、さらには砂防を深く学んできた子ども達は、農家の60%が使用している「一発肥料」の存在を知った。追肥の必要のない優れた肥料の被膜がプラスチックであり、それが海に流れ込んでいるという衝撃の事実直面。本当にそうなのか、新潟県信濃川下流にあり、同じ環境学習をしている真砂小学校の児童に手紙を書き、オンラインで環境について語り合った。川と海を守るために上流と下流でできることを真剣に考え合う姿がそこにあった。

4 小水力発電をすることで環境を守ることはできないのか（6年）

国土交通省焼岳観測所のディーゼル発電施設や霞沢発電所を見学してきた子ども達は、上高地内にも小水力発電所があることを知った。日本山岳会上高地山岳研究所だ。自然に優しい発電である一方で法

的手続きやメンテナンスの大変さもあることを知る。しかし、日本にはまだ2000カ所以上小水力発電所を建設できる場所があることをつきとめ、環境のために、未来に向けて自分達ができそうなことを考え合っていた。

【来年度の構想】

低学年は上高地の自然に親しむ、中学年はそこにいる自然と人から視点を広げ、高学年ではさらに海とのつながりを明確にした学習を展開していきたい。そこから地元安曇、上高地を見返す学習を継続したい。

活動中の写真

上高地の「川探検」で梓川の様子を観察（1，2年生）



梓川でのリバーアドベンチャー（3，4年）



新潟市立真砂小学校とのオンライン交流（5年生）



上高地山岳研究所の小水力発電所見学（6年生）

